

# 令和4年3月期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

# 令和4年3月期 決算概要

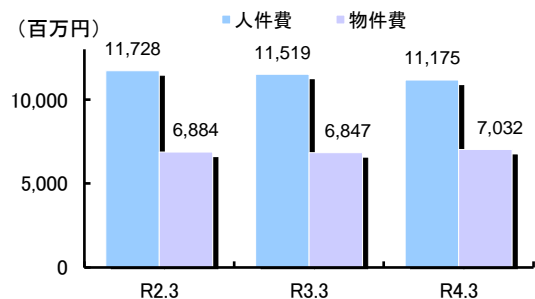
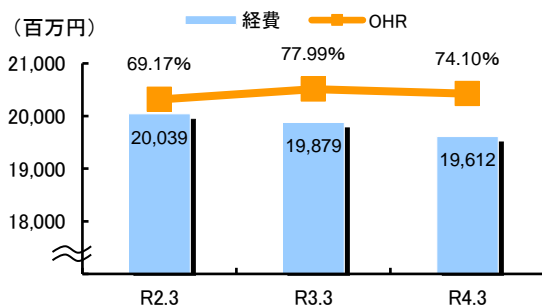
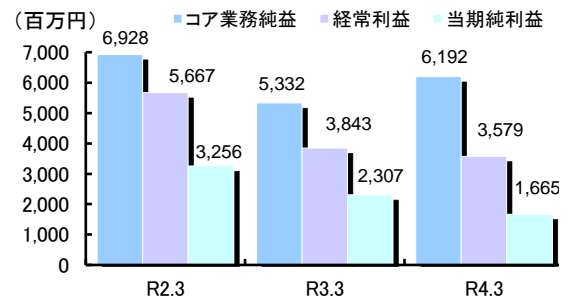
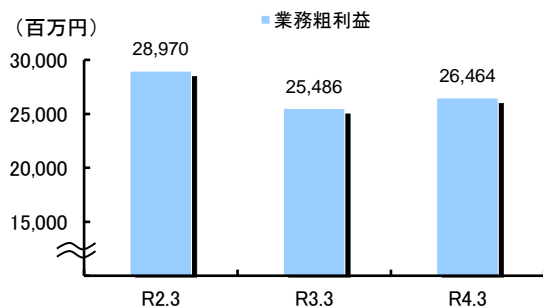
## 1. 損益の状況

令和4年3月期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益は61億92百万円、経常利益は35億79百万円、当期純利益は16億65百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R2年3月期	R3年3月期	R4年3月期	
				前年同期比
業務粗利益	28,970	25,486	26,464	+ 977
資金利益	24,317	22,826	22,931	+ 104
役務取引等利益	2,120	2,295	2,353	+ 58
その他業務利益	2,532	364	1,179	+ 814
経費(除く臨時処理分)(▲)	20,039	19,879	19,612	▲ 266
OHR(業務粗利益経费率)	69.17	77.99	74.10	▲ 3.89
うち人件費(▲)	11,728	11,519	11,175	▲ 343
うち物件費(▲)	6,884	6,847	7,032	+ 185
コア業務純益	6,928	5,332	6,192	+ 859
一般貸倒引当金繰入額(▲)	827	1,766	▲ 763	▲ 2,530
業務純益	8,103	3,840	7,615	+ 3,774
臨時損益	▲ 2,435	3	▲ 4,035	▲ 4,038
うち不良債権処理額(▲)	3,641	2,403	7,260	+ 4,856
うち償却債権取立益	643	361	559	+ 197
うち株式等関係損益	▲ 319	1,277	1,917	+ 639
経常利益	5,667	3,843	3,579	▲ 264
特別損益	▲ 256	▲ 144	▲ 290	▲ 145
法人税等合計(▲)	2,154	1,390	1,623	+ 232
当期純利益	3,256	2,307	1,665	▲ 641



## 2. 主要勘定の状況

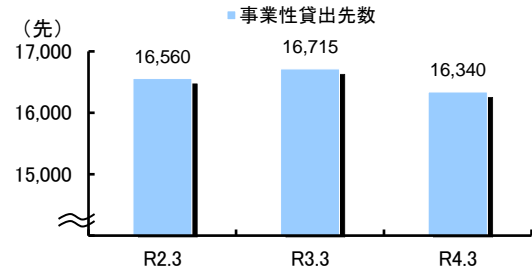
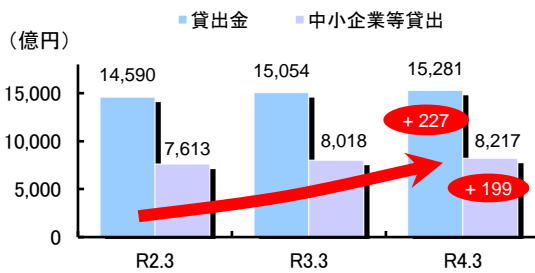
### (1) 貸出金

貸出金は、コロナ禍において、お客様が資金繰りの心配なく事業に専念できる環境づくりを行う「真の資金繰り支援」に注力した結果、期末残高は前年同期比227億円増加の1兆5,281億円となりました。  
 上記と同様に、中小企業貸出が順調に推移したことから、期末残高は前年同期比199億円増加の8,217億円となりました。  
 また、事業性貸出先数は、コロナ禍における渉外活動の自粛による新規開拓件数が減少するとともに、約定完済等による自然解消もあったことから、前年同期比375先減少の16,340先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
貸出金(末残)	14,590	15,054	15,281	+ 227
うち中小企業等貸出	7,613	8,018	8,217	+ 199
事業性貸出先数	16,560	16,715	16,340	▲ 375



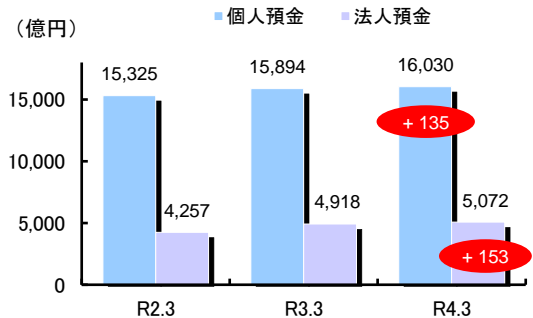
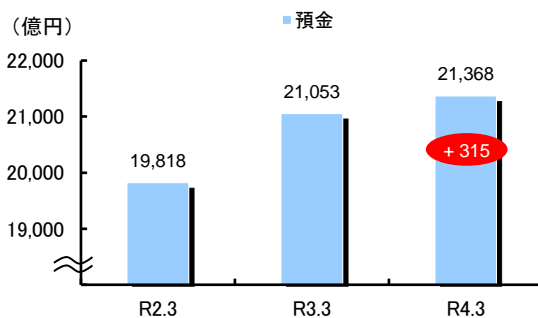
### (2) 預金

預金は、個人・法人とも順調に増加し、期末残高は前年同期比315億円増加の2兆1,368億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
預金(末残)	19,818	21,053	21,368	+ 315
うち個人	15,325	15,894	16,030	+ 135
うち法人	4,257	4,918	5,072	+ 153



(3) 預り資産

投資信託は、長期的な資産形成支援に取り組んだことより販売額は318億円、純資産残高は801億円となりました。年金保険等の販売額は124億円、残高は1,325億円となり、また、国債等公共債の販売額は4億円、残高は28億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

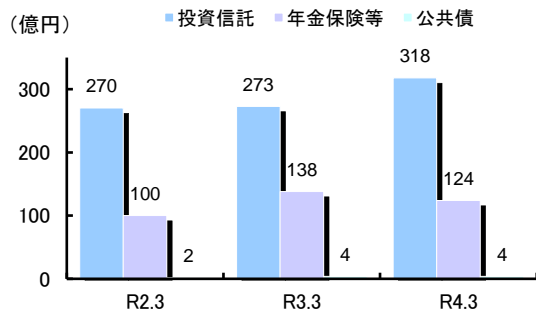
		R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
販売額	投資信託	270	273	318	+ 44
	年金保険等	100	138	124	▲ 14
	公共債	2	4	4	+ 0

《単体》

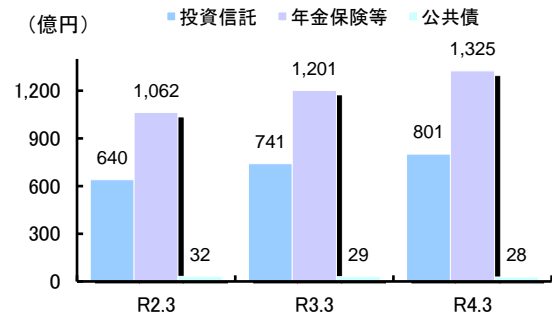
(単位:億円)

		R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
残高	投資信託	640	741	801	+ 59
	年金保険等	1,062	1,201	1,325	+ 123
	公共債	32	29	28	▲ 1

販売額



残高



(4) 有価証券

有価証券は、運用ポートフォリオの多様化を進めた結果、期末残高は前年同期比15億円減少の5,953億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

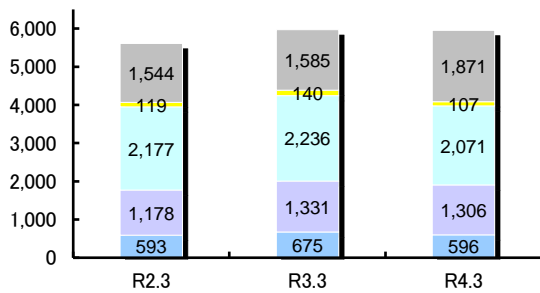
	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
有価証券残高	5,612	5,968	5,953	▲ 15
国債	593	675	596	▲ 78
地方債	1,178	1,331	1,306	▲ 25
社債	2,177	2,236	2,071	▲ 165
株式	119	140	107	▲ 32
その他	1,544	1,585	1,871	+ 285

《単体》

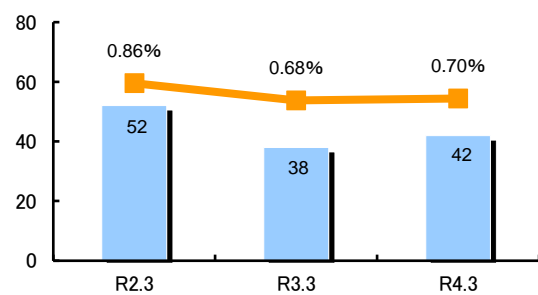
(単位:億円、%)

	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
有価証券利息配当金	52	38	42	+ 3
有価証券利回り	0.86	0.68	0.70	+ 0.01

(億円) ■ 国債 ■ 地方債 ■ 社債 ■ 株式 ■ その他



(億円) — 利息配当金 — 利回り



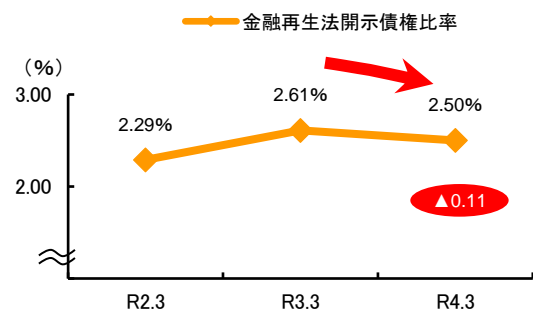
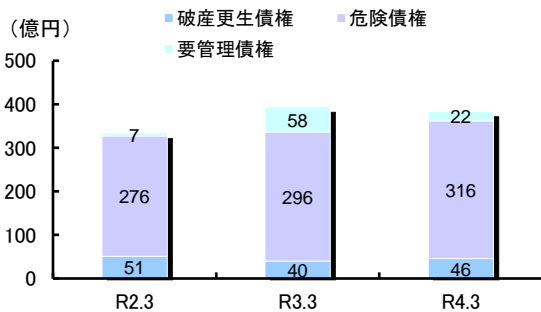
### 3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.11ポイント低下し、2.50%となりました。

《単体》

(単位:億円、%)

	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
破産更生債権	51	40	46	+ 5
危険債権	276	296	316	+ 20
要管理債権	7	58	22	▲ 35
小計(A)	335	395	385	▲ 10
正常債権	14,313	14,716	14,975	+ 259
合計(B)	14,649	15,111	15,360	+ 249
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.29	2.61	2.50	▲ 0.11



### 4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.51%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位:%)

	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	前年同期比
自己資本比率	9.84	10.51	10.51	0.00

